

市民公開講座－3

車いすバスケットボールと共に生きる

日本パラリンピック委員会強化委員会強化委員 塚本京子

1977年高校3年生在学中に交通事故にあい、1年半の入院生活を送る。

車いす生活を送ることになるが、入院中のリハビリで車いすバスケットボールを体験したことで、人生の生きがいを見つけることになる。

退院後、社会人として働きながら、仲間と車いすバスケの女子チームを結成する。

1981年日米親善車いすバスケットボール大会が開催されることになり、女子代表チームが初めて結成され、代表メンバーとして招集される。

1984年イギリスで開催されたパラリンピックに女子チームが初出場し、銅メダルを獲得する。

1987年結婚、出産後、3ヶ月で選手として復帰。

1988年ソウルパラに出場、その後1992年バルセロナパラ出場。

1994年2人目出産。

1996年アトランタパラ出場、2000年シドニーパラ出場16年ぶり銅メダル獲得、2004年アテネパラ出場、この大会を最後に代表選手活動引退。

2002年北九州世界選手権大会にてIWBF（世界車いすバスケットボール連盟）よりゴールドメダルトライアド賞を受賞。

1981～2004年まで代表選手として活動を続けてきたが、当時は女性アスリートへのサポートはなかったため、出産後は育児をしながらの選手活動であったが、家族のサポートのおかげで遠征や合宿に参加することができた。

家族のサポートがなければ代表選手として活動を続けることは考えられなかったと思う。

現在は、所属しているELFINチームで後輩やジュニア選手を目指している子供達の指導をしながら選手としても活動を続けている。

その他、地元での学校関係や福祉事業やイベントでの車いすバスケットボールの体験会などにも参加している。

<略歴>

【競技戦歴】

| | | |
|-------|-----------------------------------|----|
| 1984年 | イギリスアイリスベリーパラリンピック | 3位 |
| 1988年 | 韓国ソウルパラリンピック | 5位 |
| 1992年 | スペインバルセロナパラリンピック | 6位 |
| 1996年 | アメリカアトランタパラリンピック | 5位 |
| 1998年 | オーストラリアシドニー 車いすバスケットボール世界選手権大会 | 4位 |
| 2000年 | オーストラリアシドニーパラリンピック | 3位 |
| 2002年 | 北九州 車いすバスケットボール世界選手権大会 | 4位 |
| 2004年 | ギリシャアテネパラリンピック | 5位 |
| 2002年 | IWBF ゴールドメダルトライアド賞受賞 | |